

令和 8 年度  
第 1 回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 日 時   | 令和 8 年 7 月 2 日（木） 午後 1 時 1 5 分～午後 4 時 0 0 分                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 2 場 所   | 教育委員会室                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 3 議 題   | （１）令和 8 年度における点検・評価の対象及び方法について<br>（２）各施策についての点検・評価                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 4 資 料   | 次第、さいたま市教育行政点検評価委員会設置要綱、座席表、出席者名簿、令和 8 年度点検評価委員会審査日程、令和 8 年度教育委員会の点検・評価報告書（案）、令和 7 年度教育行政方針                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 5 出 席 者 | 別紙出席者名簿のとおり                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 6 議 事   | <p>＜開 会＞ 午後 1 時 1 5 分</p> <p>＜会議の公開＞</p> <p>会議を公開することを決定した。傍聴者希望者はなし。</p> <p>議題（１）令和 8 年度における点検・評価の対象及び方法について</p> <p>事務局から、令和 8 年度における点検・評価の対象及び方法について説明後、各委員へ意見を求めた。</p> <p>※意見なし</p> <p>事務局の原案のとおり、評価の対象は「令和 6 年度教育行政方針」に記載された 4 4 事業とする。</p> <p>評価の方法は、「令和 7 年度教育委員会の点検・評価報告書（案）」における教育委員会の自己点検・評価の記載に沿って各所管課から説明を行い、それに対して委員が意見及び質疑を述べる方式とする。</p> <p>議題（２）各施策についての点検・評価</p> <p>令和 8 年度教育委員会の点検・評価報告書「Ⅲ 点検・評価の結果（令和 7 年度事業対象）」において、「令和 6 年度の教育委員の活動状況」及び「1 1 2 年間の学びの連続性を生かした「真の学力」の育成」の 1 0 事業（事業名は別紙「令和 8 年度さいたま市教育行政点検評価委員会日程」参照）について所管課より説明を行った後、委員からの意見及び質問を受け付けた。</p> <p>【主な意見及び質疑等】</p> <p>＜武田委員長＞</p> <p>PDCA サイクルでは、点検評価委員会は Check の機能。そのあとに教育委員会が Action をすることが目的であり、点検評価委員会の存在意義はそこにあるので、当委員会を生かしていただきたい。</p> |

令和 8 年度  
第 1 回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

「令和 7 年度のエ育委員の活動状況」

＜和田委員＞

学校訪問の選定と順序はどう決めているのか。

＜教育総務課長＞

さいたま市立の学校を 3 年かけて 1 周りするよう調整して令和 7 年度は 43 校とした。

＜武田委員長＞

一日に何校訪問しているのか。

＜教育総務課長＞

多くて 2 校で設定している。

「1 12 年間の学びの連続性を生かした「真の学力」の育成」

（1）新たな指標を踏まえた主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の推進

＜武田委員長＞

市教委の一丁目一番地。学校教育の最も中心であり、生涯教育の土台となると考えている。学習者が主体的に学ぶ上でタブレットは個人作業となりがち。学校では友人等と対話して社会性やコミュニケーション能力の育成も進められればと思う。

学習者の視点でアンケートをとることが、「主体的な学び」を支援する上で、素晴らしいと思う。現在の学びのプロセスに加えて、「学習の目標と評価」といった、学びのゴール設定も含めて、さらなる「学習者の自立」をめざしてほしい。

子どもが自分で作り出す学びという新たな評価のあり方について、さいたま市の小学校での実践の研究発表の論文が、埼玉県の大野政巳英語教育賞の最優秀賞を受賞しているが、そのような優秀な実践事例を広げていくことを期待する。

GS 科の中で授業のめあてをループリックのワードの中から児童に選ばせる、といった子どもたちと授業のゴールを一緒に考えて、主体性を伸ばすといった取組を聞いている。GS 科以外の他の教科でも教科横断的に導入していきやすいと思うので、市全体での展開を期待している。

（2）「さいたま市スマートスクールプロジェクト（SSSP）」の推進

＜和田委員＞

アウトカム目標を設定していることは誇っていいと思う。

IT メインとなることで、発達段階にある子どもの視力の低下や精神的な成長への懸念があるので、統計をとるなどして人体への影響を検討してほしい。

（3）効率的に目的を達成するための論理的思考力を鍛えるプログラミング教育の実践

（4）スクール・ミッションを踏まえた市立高等・中等教育学校の更なる特色化・魅力化の推進

令和 8 年度  
第 1 回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

＜鶴沢委員＞

大宮国際中等教育学校の国際バカロレアプログラムの成果は。グローバル人材を育てられているのか。

＜高校教育課長＞

2 期卒業生を輩出。探求的な学びを実社会への働きかけなどの動きに繋がっている。海外の大学を目指す生徒もでてきているなど、6 年間の成果が出ている。全市的に外の 3 校にどう広げられるか、それを考えているところ。

＜武田委員長＞

全市展開という観点として、自主的な学びを支える教員を育てていただきたい。海外に進学した卒業生のことを在校生・保護者にフィードバックしてほしい。素晴らしいのに広報が足りていないと思う。大宮国際というリソースを有効活用してほしい。

＜和田委員＞

市立高校が大胆なチャレンジをしていると保護者は評価している。しかし、文科省の SSH の中間報告では一層努力が必要とされたが、それをどう課題と捉えているのか。

＜高校教育課長＞

大宮北高校の SSH の広報が足りていないと考えている。大宮北の HP に力を入れているが、専門家に適正評価をしていただき、次にどう繋げるかが大事と考えている。それに加え、イノベーションなど何か新しいものを価値づけしないと、と考えている。

（５）子どもたちの未来をはぐくむ豊かな「体験活動」の推進

（６）中・高の連続性と強みを生かした教育の推進と学校教育の質の向上

（７）カリキュラム・マネジメントの充実による「さいたま市小・中一貫教育」の質の向上

＜鶴沢委員＞

A I を利用する授業について学校や先生によって差があるのか。

＜教育研究所＞

6000 人の教員の認識の統一は難しいが、指導訪問の方法を変えて、良い先生の良いところを模倣する仕組みを作る。A I の理解について差がある理由は、A I に触れたばかりであることから。今後は A I パイロット指定校の活用事例を展開していきたい。

＜武田委員長＞

さいたま市の規模が大きいいため差が発生するものと考えている。公教育で一定のレベルを維持し、成果に結びついている点は素晴らしいと考えている。ここまで規模が大きく多様性がある中でそこまで差がないことは誇っていいと思う。

（８）学習状況調査等の教育データを利活用した教育支援の充実

＜武田委員長＞

令和8年度  
第1回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

学力向上ポートフォリオは以前あまり活用できてなかったが、今は96%の職員が活用している。学校・教育委員会が実績を作っていることに対してもっと親に対して広報していただきたい。

(9) 各学校の個別の課題を学校間で協働して解決に迫る「学校課題研究」の推進

(10) 生涯にわたり深い学びを支える子ども読書活動の推進

<鶴沢委員>

字を見ることは増えていると思う。子供がデジタル環境で字を読むことができる環境を整備してはどうか。短い文章を読むことができるので、スマホでも短編でもよいので本を読むことの習慣化を考えてはいかがか。

<和田委員>

読書量についてのアンケートはデジタル媒体での読書量は考慮されていないのでは。

<資料サービス課長>

アンケートに紙書籍・電子書籍の区別はない。

<和田委員>

読解力が上がっているのに読書量は減っているとの結果に対して、分析が必要と考える。様々な文学の在り方を加味し、読解力の向上につなげていけるのでは。

<休憩・担当所管入れ替え>

「3 人生100年時代を輝き続ける力の育成」の7事業（事業名は別紙「令和8年度点検評価委員会審査日程」参照）について所管課より説明を行った後、委員からの意見及び質問を受け付けた。

【主な意見及び質疑等】

<武田委員長>

大宮図書館は建築空間としてもすばらしく、さいたま市の教育行政が市民の暮らしに大きな価値を与えていると考えている。大宮図書館は開館7年目であり、運営状況が安定して目立たないかもしれないが、その価値を再度認識していただきたい。

大宮図書館は一例であるが、さいたま市の教育行政が市民にもたらしている恩恵は、毎年点検評価報告書の記載の外にも、数字やデータにならない形で数多あり、市民の幸せに寄与していることも多い、ということを日々の仕事の励みにしていただきたい。

(1) 時代のニーズを踏まえた「公民館事業の推進」と「モデル館事業」の創設

(2) コミュニティ・スクールとスクールサポートネットワークの一体的推進

<和田委員>

令和 8 年度  
第 1 回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

「親の学習事業」について、親も悩みながらいるなかで、親の学習事業は重要である。

＜生涯学習総合センター副館長＞

当事業は、学ぶというよりも親同士が対話の中で気づきを得る機会の場の提供しているものである。

＜和田委員＞

人口の分布と公民館の配置は必ずしも一致しないので、コミュニティセンターで実施するなど別の場所で開催してもよいのでは。

＜生涯学習総合センター副館長＞

これまで各館何回と設定していたが、地域の実情に合わせて実施回数などの検討をしているところである。

＜和田委員＞

「親の学習事業」は子どもの命に係わる重要な事業であるので、人の集まる場所を活用し、駅にポスター掲示するなど、広報に力を入れていただきたい。

＜武田委員長＞

少子化は少親化でもある。親を孤立させないよう家庭に届くようにお願いしたい。

（３）チャレンジスクールを通じた学びの輪・地域の輪づくりの充実

（４）科学館・博物館・美術館の専門性を生かした学校との連携と生涯学習環境整備の推進

＜鶴沢委員＞

青少年宇宙科学館の出前授業は好評である。広めてほしい。

＜武田委員長＞

報告書に記載はないが、美術館でのお気に入りの絵を 1 枚だけ撮影してもよい、という取組は DX 時代の美術館のあり方として素晴らしいものと思っている。スマホ慣れしていることを逆手にとって、子どもたちや市民に美術との距離を縮めてもらう、有効な卓抜した企画と思っている。

うらわ美術館に所蔵する仕掛け絵本による芸術体験の企画など、デジタルとは違うかたちで紙の本に親しむことで、子ども達に広く読書活動への興味を喚起できると思うので国語教育とリンクしていただきたい。

＜うらわ美術館副館長＞

資料点数が増えてきているので、出張授業の充実とともに図書館との連携も増やしていきたいと考える。

（５）未来を切り拓く学びのパートナーシップ「生涯学習人材バンク」

（６）安全・安心に向けた公民館・図書館施設リフレッシュの推進

令和 8 年度  
第 1 回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

＜武田委員長＞

公民館・図書館のリフレッシュに関連し、トイレの洋式化の数値目標はあるか。

＜生涯学習総合センター副館長＞

全 60 館のうち今後リフレッシュ工事を予定している公民館など 19 館は和式が残っている現状。リフレッシュ工事とは別に修繕などを検討していく。

＜武田委員長＞

市民に見えるように洋式化を情報公開したほうがよい。

＜鶴沢委員＞

建て替えか複合化か修繕なのか、リフレッシュの全体方針が市民にわかりにくい。地域の人のため、市がどんな考えか示すとともに自治会長だけでなく、公民館の利用者の声も聞いてほしい。

＜生涯学習総合センター副館長＞

市ホームページで公民館施設リフレッシュ計画・第 2 期で示してはいるが、それが地域の方に届いているのか、地域の公民館が該当するのか等、分かるようにしていく必要があるとは考えている。

（ 7 ）次世代に向けた歴史文化資源の保存・継承・活用

＜鶴沢委員＞

クラウドファンディングで応援を募っているが、市から予算は出ないのか。

＜文化財保護課長＞

財政部門に要求していくことに加え、クラウドファンディングを活用した文化財の修復活用について基金を創設した。修復とともに普及啓発に努めていく。

＜武田委員長＞

基金の内訳は。

＜文化財保護課長＞

一般財源 500 万円＋クラウドファンディングの寄付金。合計 963 万円。

＜武田委員長＞

大宮国際古墳は公開など有効利用しないのか。

＜文化財保護課長＞

学校との兼ね合いもあるので、古墳の状況を確認しながら、有効活用していきたい。

＜和田委員＞

クラウドファンディングは「ふるさと納税型」とあるが個別事業を指定するものという理解でよいか。

＜文化財保護課長＞

市のクラウドファンディングとして時期定めて実施したもの。R 7 は 3 本あり時期をずらして重点的に実施している。広報としては、ふるさと納税というよりは文化財保護を前面に出したクラウドファンディングを実施している。

令和 8 年度  
第 1 回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

＜和田委員＞

クラウドファンディングは広報が大事であるので、ふるさと納税だけでなく現状あるように、一般的なサイト等を活用していただければと考える。

「4 「スクール・コミュニティによる連携・協働の充実」の3事業（事業名は別紙「令和8年度点検評価委員会審査日程」参照）について所管課より説明を行った後、委員からの意見及び質問を受け付けた。

【主な意見及び質疑等】

（1） Well-being（幸せ）が循環するコミュニティ・スクールとスクールサポートネットワークの一体的推進

＜武田委員長＞

スクール・コミュニティが閉じた存在であり、市の教育委員会がスクール・コミュニティの外部の敵として認識されることがある。保護者からは市教委と学校とスクール・コミュニティの全体像が見えていないのかもしれない。市教委の理想を保護者に通知するなど、保護者との心理的な距離を近づけるよう努力をしてほしい。学習指導や行事参加における積極的な協力が得られるなど、家庭教育全般の底上げにもつながるので、保護者の理解を更に得ていただきたい。

＜鶴沢委員＞

校庭など学校施設の理念・目的を共有して忘れないでいただきたい。

＜和田委員＞

周辺団体との連携が弱いと思われる。各学校が周辺団体（PTA、青少年育成会等）と連携してほしい。また、教育委員会のリーダーシップと市教委の情報発信を進めていただきたい。

（2） チャレンジスクールを通じた学びの輪・地域の輪づくりの充実

＜鶴沢委員＞

チャレンジスクールは全部の学校でちゃんと実施できているのか。

＜生涯学習振興課長＞

放課後チャレンジスクールは1校、土曜チャレンジスクールは2校実施できていない。スタッフ不足もしくは実施の希望がないことがその要因。

＜鶴沢委員＞

チャレンジスクールは拡大しているのか縮小しているのか。

＜生涯学習振興課長＞

現在はコロナ前の水準まで回復し、安定している。

＜武田委員長＞

ボランティアをきっかけに教員の採用希望につながった例もある。子どもに関心のある人を増やす取組でもあると考えるので広く声をかけるべき。

＜鶴沢委員＞

令和8年度  
第1回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

勉強主体のチャレンジスクールはあるのか。

＜生涯学習振興課長＞

数を把握していないが、実施している学校はあると聞いている。

＜和田委員＞

他の事業とも連携してチャレンジスクールのボランティアスタッフを確保していただきたい。

（3）子どもを見守る学校安全ネットワークの推進

＜鶴沢委員＞

子ども安全協定について、最初の頃と比べてシールを見かけなくなった。数字としては変わらないので、調べてもらいたい。タクシーや運送会社など。貼っていないということは自覚がないということ。再交付、見直しが必要。

＜教育課程指導課＞

スポーツ文化局やスポーツ協会などとの連携強化に努めているところ。

＜健康教育課長＞

安全協定締結の際に、車の入替え等でシールの再交付の申請については説明しているが、改めて周知していく。

＜和田委員＞

ながら見守りボランティア登録者増えているのは良いことであると考え。もう少し登録者数の増加を強力に推し進めてもよいのでは。例えばPTA役員に声掛けするなどのアイディアをPTAに持って行ってよいと思われる。多い事例の情報提供等、市PTA協議会としても情報共有したい。

＜和田委員＞

共働きが増えており、日中の人口が各家庭から勤務先の事業所に流れている。ながら見守りについて、事業者にも直接情報提供し、事業所に勤める方を巻き込んではいかがか。例えば赤羽岩淵駅周辺では、商店街が協力しているとの話もある。市教育委員会から事業所に働きかけた上で学校から依頼すれば協力しやすいと思われる。

＜健康教育課長＞

現状は自治会への働きかけはしているところ。ご意見を参考にさせていただく。

＜武田委員長＞

地域の見守りの際、学校現場では自治会ばかりが注目されがちだが、青少年育成さいたま市民会議の活動にも注目していただきたい。

＜武田委員長＞

自転車等の安全教育、サイバーセキュリティなどの技術教育で、生活の根本、暮らしの安全と安心を守ることは学校教育のオプションではなくマスト。子どもを守るものとして警察との連携について強く意識をすべきであり、管轄署と連携を強化していただきたい。警察は依頼があれば非行防止の出前講座も実施しており、全学校で年間計画に組込んでよい内容と考えている。非常時だけでなく常時連携している存在として、警察との連携を深め

令和8年度  
第1回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

てほしい。

<閉 会> 午後4時00分閉会

【問合せ先】 教育委員会事務局管理部教育政策室 829-1626